

日頃の学習の成果を全国の仲間と共有
「第24回全国産業教育フェア宮城大会」開催

11月8日・9日の2日間、全国の専門高校で学ぶ生徒が宮城に集い、第24回全国産業教育フェア宮城大会が、まなウェルみやぎ、名取市文化会館、名取市民体育館、セキスイハイムスーパーアリーナ、仙台港を会場に開催された。内容は研究発表、意見・体験発表、作品展示・即売、ファッションショー、ロボット競技、フラワーアレンジメントコンテスト、キッズビジネスタウン、海洋総合実習船「宮城丸」の体験乗船など多彩、実演・体験コーナーや参加・交流イベントも多数用意され、会場は大いに賑わいを見せた。総開会式では日頃の学習で学んだテーマをもとに意見・体験発表が行われ、活発な意見交換がされた。名取市民体育館では、専門高等学校ならではの特徴を活かした体験実演コーナーが開かれた。入り口では石巻地域の企業と専門高校がコラボした商品の試食なども行われ賑わいをみせた。キッズビジネスタウンや看護・福祉をテーマにしたまなウェルみやぎでは、全国の代表11校が技術を競い合う介護技術コンテスト、子どもたちの看護師体験、認知症予防グッズの紹介、妊婦・赤ちゃん抱っこ体験、骨密度測定体験などが行われ、商業や看護・福祉について体験できる機会となった。セキスイハイムスーパーアリーナ会場では、生徒による自作ロボットの競技大会が



日頃の学習成果を広く紹介する産業教育フェア。全国からたくさんの高校生らが集まった



意見・体験発表では、インスタント食品と通常の食事とのそしゃく時間の比較などが発表された



セキスイハイムスーパーアリーナ会場で行われたロボット競技大会。熱い戦いに会場も盛り上がった



まなウェルみやぎで行われた福祉部による実演コーナー。日頃の成果を披露

高い技能を認められたという誇りを胸に
「第9回若年者ものづくり競技大会」入賞報告

7月下旬に山形県などで開催された第9回若年者ものづくり競技大会の入賞報告が宮城県庁で行われた。6名の入賞選手と技能五輪全国大会出場権獲得者1名が参加。入賞者からは「この入賞を機にますます技術向上に励みたい」という新たな決意が話された。報告を受けた若生副知事は「これからの宮城のものづくりを担う人材。技とともに心を磨き社会に貢献してほしい」と激励した。



第9回若年者ものづくり競技大会で入賞した宮城県選手が県庁を訪問



「入賞はこれから技能者を目指すうえで糧になる」と佐藤大輔さん
「精度を求めて日々練習を繰り返してきた」と小林涉さん

- 「入賞者」
 - フライング盤第1位(厚生労働大臣賞) 小林涉さん(宮城県工業高等学校)
 - 建築大工第2位 佐藤大輔さん(宮城県立大崎高等学校)
 - 旋盤第3位 遠藤礼門さん(宮城県工業高等学校)
 - ウェブデザイン 第3位 渡辺大貴さん(宮城県工業高等学校)
 - 電子回路組立で敢闘賞 佐藤大地さん(東北職業能力開発大学校)
 - 旋盤 技能五輪全国大会出場権獲得 伊藤雄一さん(宮城県工業高等学校)

「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム」復興に向けてチャレンジするユースの活躍を広く発信

9月20日・21日、「住友商事 ユースチャレンジ・プログラム2014」がTKP ガーデンシティ仙台で開催された。本フォーラムは「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム」の「活動・研修助成」新規助成40団体による中間報告会とシンポジウムとして開催された。ユースが震災復興に主体的に取り組む活動や研究に関する報告が行われた。初日は、仙台市若林区の東部沿岸地域の農村における復興・復興・地域おこしの活動を行う「ReRoots」、子どもたちへの学習機会の提供と、それを支援する大学生ボランティアの育成につながるプロジェクトを実施している「チャンス・フォー・チルドレン」、石巻市で地元学生による学習を通じた子どもの居場所づくりを行う「TEDIC」など、15団体が活動の進捗状況を発表した。



「ReRoots」による発表



「チャンス・フォー・チルドレン」による発表



「TEDIC」による発表



決意を新たに参加者で記念撮影

今年もハローワークで新卒者を応援
「新規高卒者就職面接会」開催

10月16日、大崎市古川総合体育館にて「平成27年3月新規高卒者就職面接会」が開催された。製造業などものづくり関連企業16社を含め、地元企業52社が参加。高校生たちは各企業ブースで行われる本番さながらの予備面接を経て、その企業への応募資格を得ることになる。当日は大崎市近郊を中心に各地から高校生たちが集まり、関心のある企業のブースで予備面接に臨んだ。一迫商業高校の女子生徒は「接客や介護職など人と関わる仕事をしたい」と積極的にブースを回っていた。就活系のイベントは初めてだという米山高校の男子生徒は「製造業に興味がある。がんばって内定につなげたい」と話した。



緊張感が漂う雰囲気の中で開催された予備面接



「挨拶をはじめとしたコミュニケーションが大事」と、(株)協友エレクトロニクス業務統括部長の植松誠氏
「学校できちんと勉強してきた方に来てほしい」と、(株)RSテクノロジー三本木工場総務課課長の森栄一郎氏

未来のものづくりを担う技術者に激励の言葉を
「アビリンピック・技能五輪全国大会」結団式開催

障害のある方が職業技能を競う全国障害者技能競技大会(アビリンピック)、および満23歳以下の若手技能者が技能レベルを競う技能五輪全国大会の愛知県での開催にあたり、11月10日に宮城県選手団の結団式が開催された。会場となった宮城県庁には選手団を応援する企業や関係者が集まった。両大



「せいろを運ぶ」という動作に対して、いかなるアプローチでもOK。知恵と技術で競い合う



仙台高等専門学校(広瀬)A「Uni☆Verse」が全国大会へと進出

「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2014東北地区大会」開催

全国の高等専門学校が参加する「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2014」の東北地区大会が10月26日、岩沼市総合体育館にて開催された。今年東北6県の7校14チームが参加。「出前迅速」というテーマのもと、各校工夫を凝らしたロボットが3分間で「蕎麦せいろ」をどれだけ運べるかを競いあった。足元のセンサーでせいろを載せた盆の水平を保ち、トリの姿勢をした「うけとり」が確実にせいろを受け取るという福島工業高等専門学校のユニークなロボットなども話題を呼んだ。宮城県からは仙台高等専門学校(広瀬)Aが、11月23日に国技館で行われる全国大会へと進出。



代表として「決意のことば」を述べる寒河江研吾さん



技能五輪参加者で記念撮影

広告

平成26年度地域中小企業の人材確保・定着支援事業
～宮城県内の“きらり中小企業”20社を紹介します～

Job-Connect みやぎ(宮城県中小企業団体中央会)では、「宮城県内の“きらり”と輝く中小企業」20社を選定し、冊子化に向けて取材中(平成26年12月下旬完成予定)です。情報はJob-Connect みやぎ HP で随時更新しますので、宮城県内の企業をもっとよく知りたい方、これから就職活動を始める方はぜひご覧ください。

【問合せ先】宮城県中小企業団体中央会
TEL: 022-222-8241 FAX: 022-222-5557
E-mail: info@job-connect-miyagi.jp
HP: http://www.job-connect-miyagi.jp/

きらり企業20社			
(株)ケディカ	(株)鐘崎	(有)オйкаワデニム	
ハリウ コミュニケーションズ(株)	岩機ダイカスト工業(株)		
(株)堀尾製作所	工藤電機(株)	(株)藤田鐵工所	
(株)花祭壇	松栄不動産(株)	(株)白石倉庫	井ヶ田製茶(株)
(株)カーリーナ	(株)一ノ蔵	東北プレス工業(株)	
(業)仙台清掃公社	東北電子産業(株)	(株)カキヤ	
テクノマインド(株)		東北パイプターナー工業(株)	

●この事業は平成26年度「地域中小企業の人材確保・定着支援事業」の補助を受けて実施しています